

工事概要

規模

敷地面積：6,000平方メートル
築造面積：230平方メートル
園路：L=28M・W=2.0M
塔の高さ：19.83メートル
翼の長さ：24.20メートル

構造

鉄筋コンクリート造
塔体・翼体：白御影石バーナー仕上げ、乾式貼り

その他

平和の鐘：ステンレス製

チェアーストーン：御影石

塔名板：白御影石

碑文・犠牲者名碑：黒御影石水磨き

費用：125,000,000円

工期：昭和60年5月18日～昭和60年8月31日

主施工：大韓航空機事故遺族会

塔名揮毫：椎内市長 浜森 辰雄

設計監理：㈱アトリエK

施工：石塚建設興業株式会社

㈱大一興産

川崎石材工業所

㈱フジ大理石札幌

碑文

愛と誓いを捧げる

あなたたちの生きた瞬間を
奪ったものたちは いま全世界の
人びとから糾弾されています 事件の
真相はがらぎ近いうちに明らかに
されるでしょう

わたしたちは あなたたちの犠牲を
決して無駄にはしません わたしたちは
生命の重さと平和の尊さと武力の
かきまわす世界の人びとに訴え
たいことを誓います

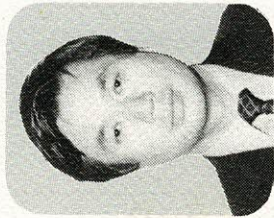
愛しい人たちよ

安らかに眠りください

一九八三年九月一日 建立

日本大韓航空機事故遺族会

ごあいさつ



大韓航空機事故遺族会
会長
川名 優収



椎内市長
浜森 辰雄

大韓航空機撃墜事件から満二年になります。一周忌に際して決意した「祈りの塔」の建設は、予定通り本日除幕を行う運びとなりました。

建設募金と呼びかけて以来、遠く海外を含め多くの方々から多額の浄財が寄せられ、深く感謝しております。地元椎内市では、当局の多方面にわたる御配慮に支えられ、職員の方々の奉仕的な御協力、市民の方々の温かな御理解を賜わり、また、設計施工に当たった方々には献身的に誠意を尽して下さいました。そのお蔭をもちまして、当初は夢に画いて望んだ美しい塔が、今見事に完成して屹立しております。

私たち遺族一同、犠牲者の御魂と共に、皆様方の御理解と御支援に対して、心から厚く感謝申し上げます。

当地に足を留める多くの方々、この「祈りの塔」の祈りの深さと悲しさを理解して下さり、再びこのような犠牲者の出ない平和な世界を建設する決意をし、行動されることを念願してやみません。

世界の耳目を椎内に集めた大韓航空機撃墜事件が発生してから早や二年の歳月が流れました。

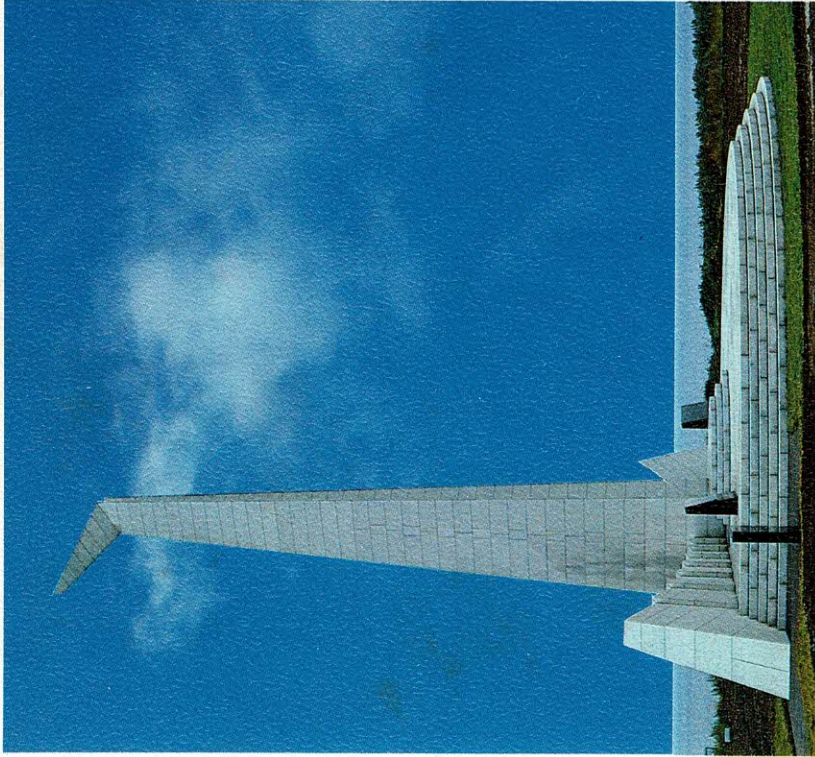
東西冷戦の谷間で起きたこの悲劇は、遭難事故現場に最も近い椎内が事件収拾ならびに報道の基地となりましたが、私は人道的立場を最優先に自ら陣頭に立ち、ことに対処したことが昨日のように想い出されます。

この間、ご遺族の悲しみは消えることなく悲しみの地モネロン島が見える宗谷岬に亡き269名の霊を弔い「悲劇は二度と繰り返すまい」の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和を希う鎮魂と平和祈願の碑を建立したいとの意を汲み、私は土地を提供するからわたしの希いが叶うよう与うる限りの努力を傾けて参りました。

満二年目に当たる本日、ご遺族をはじめ関係者の悲願が実う平和の希いを託した鶴が天を目指して、まさに飛び立たんとする美しいモニュメントが「祈りの塔」と命名され除幕されますことはまことにご同慶にたえません。

そして、建立資金の募金活動に当られながら深い悲しみを乗り越えられ、この記念すべき日を迎えられるました川名会長をはじめとする遺族会の皆様の喜びは如何ばかりかとその胸中を推し測るものです。

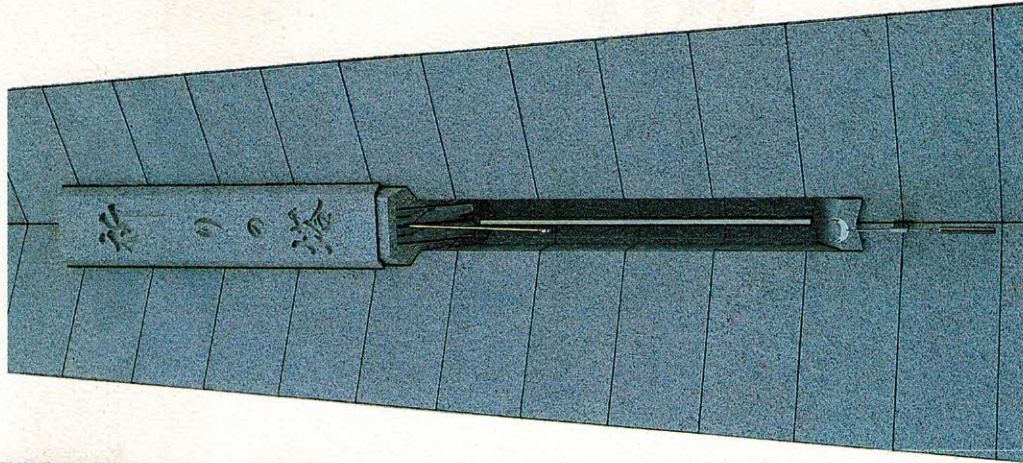
また、建立の意義を理解され、多くの浄財をお寄せ下さいました方々のご芳志に深く感謝申し上げますとともに、ここ宗谷岬から鳴り響く「平和の鐘」の音が、いつまでもそして世界の隅々まで届くことを心より祈念いたしまして私のご挨拶といたします。



設計趣旨

祈りの庭は、大海に浮ぶ安息の小島を願ったもので、東西の壁によって切りとられた半円形としてある。愛しい人々の霊の平安を祈り、事件の真相と真の平和を鶴首して希求する祈りの塔は、サハリン西方・モネロン島沖、北緯46°30'、東経 141°30'の撃墜された海面に向い、直立した塔の頂部は、この緯度に傾けられている。塔の高さ1983mは1983年に因んで定められ、塔の先端の影は9月1日にチェアーストーンの中心線上を正しく移動するよう作られている。塔体は犠牲者269名に因み269片の花崗岩で構成され、左右の翼壁は犠牲者の国籍16ヶ国に因み16枚で構成されている。

建築家 小林 美夫



塔名板・平和の鐘

